

Hearing Conservation

MONTHLY
SAFETY
BRIEF
October 2003
NAF Atsugi



聴覚保護とは？



貴方の耳を難聴にする可能性のあるレベルの騒音から守ることです。騒音は会話などの様な、あなたにとって必要な音を妨げます。しかし、それは迷惑以上のものです。騒音は危険です。騒音はあなたの聴力を一時的又は永久に傷つけることが出来ます。

騒音は貴方の聴力にどのような影響を及ぼすのでしょうか？

騒音は聴力を傷つけます。過度の騒音にさらされるとあなたの聴力は落ちます。つまり貴方の聞こえ始める音が大きくなります。数時間、ひどい騒音の中にいると一時的な聴力喪失が起こります。幸運にも聴力は大抵、騒音からある程度の時間離れていると回復してきます。永久的な聴力喪失は耳が連続して騒音限度を超えた場合もしくは一時的な聴力障害から回復出来ないときに起こります。これには普通何年もの時間がかかります。

貴方の聴力を保護するには聴力保護具が必要です。聴力保護具には三つの基本的なタイプがあります。



1) イヤープラグ — このタイプの聴力保護具は、耳の導管内に正しくフィットしている場合に騒音を減少できます。



2) カナルキャップ — このタイプの聴力保護具は、耳の導管をふさぎます。

3) イヤーマフ — このタイプの聴力保護具は耳全体を密封するものです。

- 1) イヤープラグ — このタイプの聴力保護具は、耳の導管内に正しくフィットしている場合に騒音を減少できます。
- 2) カナルキャップ — このタイプの聴力保護具は、耳の導管をふさぎます。
- 3) イヤーマフ — このタイプの聴力保護具は耳全体を密封するものです。